

令和8年

療育相談員だより

7月



〒863-0043

天草市亀場町亀川1886番地2

天草圏域児童発達支援センター

電話：23-7049 FAX：22-4985

メール：hondo@amasha.jp

梅雨が明けるといよいよ本格的な夏がやってきます。これからの暑さに備え、熱中症対策を十分行いながら過ごしましょう。

さて、今月の療育相談員だよりでは、『親の集い』『ペアレントプログラム』『インクルーシブな合理的配慮』などについて、情報をお届けいたします。

●7月の親の集い

○日時：7月9日(木) 10:00~11:30 ※どなたでもご参加いただけます。

○場所：天草圏域児童発達支援センターすくすく園 会議室

(天草市社会福祉協議会本渡支所内)

◆子育ての悩み、試してみて良かったことやお子さんの近況など、情報交換の場です。

◆ペアレントメンターさんや療育相談員が個別の対応も行っています。



ペアレントプログラムの2回目を実施しました。はじめに「大人をほめる」実践を参加者同士、和やかな雰囲気でも共有しました。その後、今回のテーマである「行動で書こう（動詞で表現する）」に取り組み、ペアで話し合いながら、今回も笑顔が多い、学びの時間になりました。

●2回目のポイント

①子どもや自分の行動を、短く具体的に肯定的に、動詞で表現してみましょう。

②『いいところ』探しをしましょう。

「普段の生活で続けてできているところ」「当たり前だと思いがちなところ」から、60~70%できている『いいところ』を見つけましょう。

そうすることで、子どもに伝えやすくなります。

●大人をほめてみましょう！

主人が食器を洗ってくれたので、「洗ってくれてありがとう！」と伝えたら、また次の日も洗ってくれました。



祖父が育てたトマトを、子どもたちが嬉しそうに食べていたので、後日「喜んで食べていたよ、ありがとう！」と伝えると、笑顔で喜んでくれました。

講演会のお知らせ

●令和8年保護者向け講座『高校への進学やサポートについて知っておきたいこと』

講話①高校における発達障がい者の合理的配慮やサポート体制について 一発達障がいを中心に

講師：天草支援学校 特別支援教育コーディネーター 楠田氏

講話②わるつの役割について 講師：熊本県南部発達障がい者支援センターわるつ

日時：9月1日(火) 13:45~15:30 (受付開始 13:30~)

会場：熊本県八代総合庁舎5階 大会議室

対象：八代、宇城、芦北、天草、球磨地域の小学生・中学生のお子さまの保護者様

定員：50名

※熊本県南部発達障がい者支援センターわるつHPよりお申し込みできます。

参加費無料

申込締切

8/24(月)

みんなが過ごしやすくなる工夫

～インクルーシブな合理的配慮



合理的配慮とは、誰もが過ごしやすくなる工夫のことです。子ども達が安心して力を発揮できる環境は家庭、幼稚園、保育園、学童クラブ、学校でもつくるができます。



家庭でできる“ちょっとした工夫”

- 見通しの共有：朝の準備ボードやタイマーの活用、「あと5分で出発するよ」の声掛けは、気持ちの切り替えを助けます。
- 選べる仕組み：服やおやつを2択から選ぶだけでも、自分で決める経験が増え、イヤイヤが減ります。
- 落ち着ける場所：クッションや毛布を置いた“ほっとスペース”は、気持ちが高ぶったときの避難場所になります。兄弟げんかのクールダウンにも役立ちます。



幼稚園、保育園や学童クラブでの“みんなに優しい工夫”

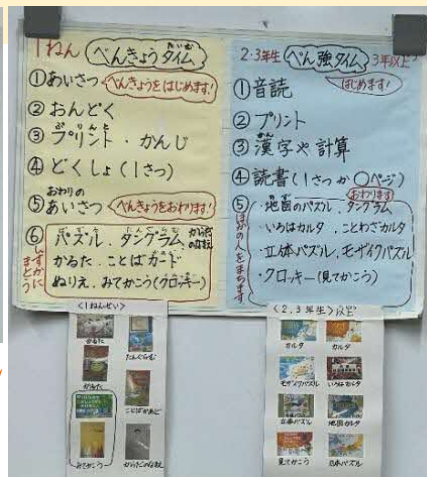
- 環境の情報量を調整：壁面をシンプルにしたり、動く導線をわかりやすくすることで、集中しやすい空間になります。
- 役割のある参加：お当番や配る係など、小さな役割があるだけで、集団が苦手な子も“居場所”ができます。
- 視覚的な手がかり：写真カードや順番カードは、言葉だけより理解しやすく、トラブル予防にもつながります。

☆天草市内のある学童クラブに訪れた際、環境がとてもわかりやすく工夫されていました。その一部をご紹介します。

着替えの手順。(男女にエリア分けされた着替えコーナーに掲示)



一日のスケジュールと、勉強タイムの手順。



学校での“安心して学べる工夫”

- 席の選択肢：前方・後方・壁際など、集中しやすい場所を選べると学びやすくなります。
- タスクの見える化：「今日やることリスト」があるだけで不安が減り、授業への参加がスムーズになります。
- 休憩の選択肢：図書室・廊下・静かなスペースなど、気持ちを整えられる場所があると切り替えがしやすくなります。